

令和7年度 第1回親子いきいき会 実施報告書

日時・会場	令和7年7月25日（金）19:00～20:30 市民会館3階会議室
出席委員	牧野委員、谷村委員、松葉委員、田上委員、両川委員、竹田委員、藤井委員 高野委員、和合委員、松澤委員、大西委員、山口委員、飯田委員、八木委員 能登委員（15名）
事務局	こども課：室橋課長、飛彈野係長、猪又、野本、横川、山口、安田、小笠原

会議内容		
1 開会あいさつ		室橋課長あいさつ
2 自己紹介		
3 親子いきいき会について		
	（1）親子いきいき会について	…会の設置要綱について説明。
	（2）正副会長の選任について	…松葉会長、高野副会長に決定した。
	（3）第4次親子保健計画について	…パワーポイントで説明。
	※集合写真撮影	
4 グループワーク 19:30～20:00		（20:00～20:20 発表）
	テーマ：子どもの健康に関して気になること	
話し合い内容（抜粋）		
○メディアについて		
	・メディアを持ち始める年齢が徐々に下がりつつある。	
	・子どもがメディアを使用する際、責任は保護者にある。	
	・メディアより楽しいものがあれば問題は解決すると思う。 →子どもの遊び場の整備が必要。また、地域の協力も必要。	
	・親のメディアに対する考え方もどうか？（以前よりもメディアがなくてはならない存在となっている。）	
	・家庭のルールがあってもその抜け道を見つけて使ってしまう。	

○早寝早起きおいしい朝ごはんについて

- ・共働きも増えているなか、実行するのは難しい。
- ・大切とはわかっているが、思うように動いてくれないとイライラし本末転倒。
→話をするときに「60%くらいでも良い」と伝えてもらえると心が軽くなりそう。
- ・早寝、朝ごはんを食べている中学生もおり、定着している面もある。
- ・幼児～小学校くらいまでは意識していたが、高校になると耳にする機会も減る。
- ・保護者が「この子のために」という気持ちが一番強いタイミング(産前・産後)の時期に大切さについて伝えてもらうのが良い。
- ・小・中学生で寝不足のまま学校に行く子がいる。
- ・寝不足で朝ごはんを食べない→体調不良→保健室に行く・授業中に寝ている。

○生活リズムについて

- ・子どもの寝不足が悪化している。睡眠の問題は、メディアとは切っても切れない。
- ・生活リズムのためにお昼寝も大事だが、寝かしつけが分からぬ親もいる。午前も午後も遊び、寝るまで遊ばせる。
→眠くなるのを待つのではなく寝かせる。寝るリズムを作ることが大切。

○保護者について

- ・寝かしつけを知らないことについて、教えてくれる世代が身近にいない?聞く場所もない?
- ・育児本を見る親も減っているような?また、今はネットで調べることが多いが、調べても多くの情報があって我が子に合う方法を見つけられないのでは?ネットでは自分欲しい情報だけ得るため、わかっていないこともわからないのではないか?
→人とのつながりの希薄化
- ・早くから働いている親もいるため、コミュニティが少ない。
→困っているのは親なのかもしれない。

○その他

- ・子どもの医療費が無料なのは良い。安心して暮らせる。
- ・数年前糸魚川総合病院で出産できない体制となったが、再び出産できるようになってよかったです。若者の定住促進になる。
→出産できなくなったことにより、育児支援(産後ケアや産前産後サポートなど)の充実につながった。悪い面だけではなかったと思う。
- ・遊び場が少ない。行政だけではなく、地域を巻き込んだ場所や機会づくりが必要。
- ・「むかしあそび」の伝承が途切れている。群れ遊びが減り子どもたちが直接人と関わる機会は減少している一方で、SNSの中では深くつながっている。人間関係の形成に難しさを感じる。

5 その他

次回開催候補日：10月31日 又は 11月7日(金) 18:30～19:30

テーマ 食について ※終了後に懇親会を予定